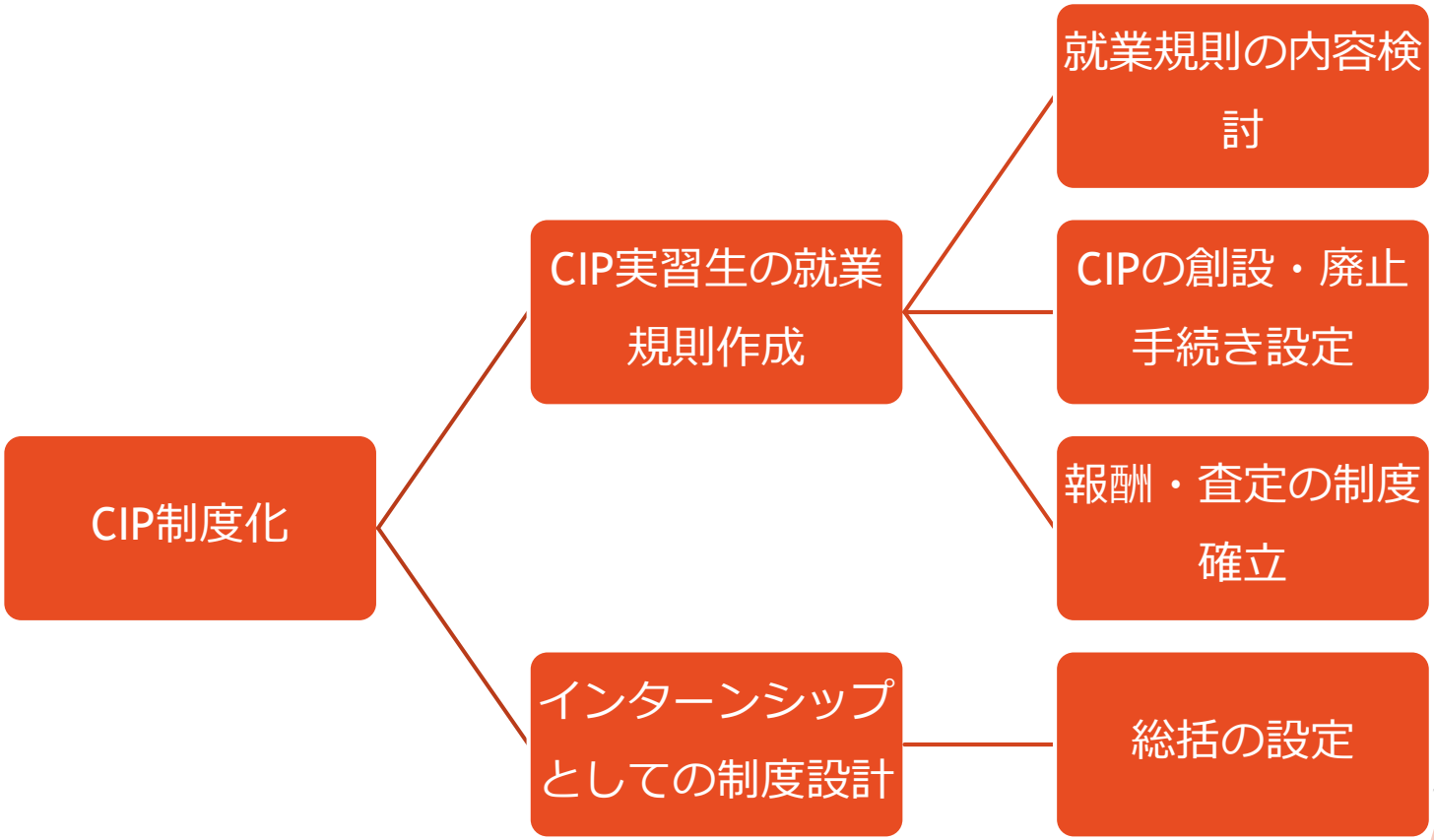
CIPro　最終総括

法学部在籍　実習生

CIPro参加の目的

- CoMPAssでの経験を活かし、阪大生協に新たな価値を生み出す
- CIPの規約面を整備することで、CIPの活動を継続的なものにする
- インターンシップとしての制度を設計することで、阪大生の可能性の拡大に貢献する

CIProでの取り組み



CIProでの取り組み

- **就業規則の内容検討**

  アルバイトともパートとも違う、CIP実習生という立場を考慮し、就業規則にどのような内容が必要か検討した

- **CIPの創設・廃止手続き設定**

  今後新たなCIPを作ったり既存のCIPを廃止したりすることを想定し、その際に必要とされる手続きを明文化した

- **報酬・査定の制度確立**

  各CIPによってバラバラだった報酬や査定方法をヒアリングをもとに統一し、制度として明文化した

- **総括の設定**

  CIP実習生の成長幅をより広げるために個人総括と最終総括を設定し、その内容を決定した

スケジュール
(CIPro活動期間2018年7月～9月)

- 7月　各CIPヒアリング
- 8月　作成資料検討
  草案作成
- 9月　第二回各CIPヒアリング
  最終提案書完成

CIProでの学び

- **CIPでの経験の大きさ**

  CIProの業務内容はかなり難易度の高いものであり、時間も限られていたため大変なことも多かったが、それを乗り切れたのはCoMPAssでの経験があったからこそだと感じている。

- **制度設計の難しさ**

  自分たちが考えた制度が影響する部分はとても大きいため、常にプレッシャーを感じながら進めていた。特に報酬や査定については、前例がない分苦労した。

- **スピード感**

  CoMPAssでは一年間かけて準備を進めていたのに対し、今回のCIP制度化はわずか3ヵ月での完成が求められた。短期間でいかに集中して成果を出すか考え、実践することができたのではないかと思う。

後輩へのメッセージ

大学生が必要とすることやCIPに求められるものは時代によって変化していくものだと思います。

だからこそ、既存の枠組みにとらわれすぎず、必要に応じてCIP制度も進化させていってください。

また、もしCIPを活用して何か実現したいことがある人はぜひ積極的に挑戦してもらえればと思います。

CIPが後輩の皆さんにとって素敵な場所になることを願っています。